施策評価シート(令和7年度実施施策)

総合計画体系	政策No.	3	政策名	健やかで人にやさしいまちづくり	施策主管課	健康ふくし課
	施策No.	3-2	施策名	高齢者福祉の充実	施策主管課長名	渡部　朋宏
関係課	健康ふくし課					

1．施策の目的

対象	意図
A 町民・地域 B 高齢者	A 近所の高齢者を地域で見守っている B 健康の維持に努めるとともに、積極的に社会参加している

2．成果指標　　**上段：目標値　下段：実績値**

	指標名	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①	A 認知症サポーターの数（増加）（現状値：H30時点）（累計値）	人	4,610	5,299	5,474	5,625	5,759	5,879
				6,119	6,574	7,019	7,459	7,732
②	B 要介護の高齢者の割合（要支援を除く）（維持）（現状値：H30時点）	%	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7
				16.7	15.9	15.8	15.3	15.5
③								
④								

3．指標の分析（成果が向上した、またはしなかった理由）

①	計画期間における実績値は、全ての年度で目標値を大きく上回り、継続して目標を達成した。認知症サポーター養成講座を町内小中学校や高校、一般向けだけでなく、事業者向けにも実施することで、幅広い世代の認知症サポーターを養成することが出来たため、目標を達成したと考えられる。
②	計画期間における実績値は、令和３年度は目標値と同値だったが、令和４年度以降は毎年度目標を達成した。介護予防の普及啓発やうんどう教室の実施、集いの場での地域リハビリテーション活動支援事業による継続的な支援により、目標を達成したと考えられる。
③	
④	

4．課題に対する取組（今年度重点的に取り組んだ課題）

・集いの場への認知症予防教室の実施や、専門医による認知症予防教室、映画上映会等を実施し、認知症への理解や予防知識の向上につなげた。
・うんどう教室の実施や、集いの場の要望に応じた地域リハビリテーション活動支援事業の実施により、介護予防につなげた。
・地域課題解決等を協議する協議体の設置に向けて、あらたな仕組みづくりについて検討した。
・地域での支え合いの体制の構築について検討するとともに、地域の実情等について情報共有した。

5．次年度の方向性（施策の方向性と次年度以降重点的に取り組む課題）

この施策は、第4次総合計画においては、高齢者福祉の充実（２-２）に引き継がれる。
第11期高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画・認知症施策推進計画を策定し、介護・福祉サービスの充実と介護予防に取り組み、健康維持と社会参加に繋がるよう、地域での生きがいづくりと見守りを行っていく。

６．施策を構成する事務事業（方向性と次年度以降重点的に取り組む主要な事業）

番号	事業通番	事務事業名	令和7年度決算額(千円)	最終評価結果			主要事業
				成果の方向性	コストの方向性	今後の方向性	
1	14446	認知症対策総合支援事業	6,478	現状維持	現状維持	⑤現状維持	○
2	14533	家族介護支援事業（家族介護リフレッシュ事業）	725	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
3	14539	その他事業（成年後見制度利用支援事業）	1,305	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
4	14565	一般介護予防事業	1,128	現状維持	現状維持	⑤現状維持	○
5	14644	生活支援体制整備事業	4,895	拡充	現状維持	②生産性改善	○
6	16716	介護保険事業	462,908	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
7	16717	シルバー人材センター運営支援事業	5,021	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
8	16718	ふれあい福祉基金積立金事業	1,540	評価対象外	評価対象外	評価対象外	
9	16719	高齢者在宅福祉サービス事業	20,005	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
10	16720	老人福祉施設入所者保護措置事業	4,463	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
11	16721	敬老事業	7,110	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
12	16722	老人クラブ活動支援事業	192	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
13	16723	介護サービス利用者負担軽減措置事業	234	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
14	16727	高齢者福祉施設管理事業	10,233	縮小	縮小	⑥段階的縮小	